

ふるさと交流都市柏市との交流を深める

「柏まつり2025」に只見町チームが参加

ふるさと交流都市千葉県柏市の一大イベントである「柏まつり2025」が7月26日、27日に開かれました。

只見町チームは「伝統柏おどり」(26日開催)に参加し、柏市民を始めとした参加者らと交流を深めながら、「柏おどり」を踊りました。

柏市とのふるさと交流都市提携は今年で31年を迎え、これまでにそれぞれの住民がお互いのイベントを行き来したり、小学校では給食の食材交換が行われたりし、交流を深めています。



▲ステージ上で踊る只見町チーム



▲写真集を手渡す海野氏

自然に触れるきっかけに

カメラマン海野さんから
町内小中学校に写真集の寄贈

国内外の山岳などの自然環境を撮影しているカメラマンの海野友昭さんが、自身の撮影した写真集を町内小中学校に寄贈しました。

海野さんは「目標を決めれば高い所にも行くことができる。この写真集が子どもたちの、世界を目指したり、自然に触れたりするきっかけになると嬉しい」と話しました。

○海野友昭…福島県出身。高所山岳、極地での自然環境に魅了され、世界の極地の撮影を行うカメラマン。近年では、生きる事、環境問題にも焦点を当て活動している。

アートで広げる子どもの未来プロジェクト
「只見の夏のブナの森」展示中

JR只見駅舎内の待合スペース(只見BAUM)に、「只見の夏のブナの森」をイメージした作品39点が展示中です。

作品は、7月21日に開催されたアートワークショップ「ブナの森を泳ぐ」(主催:福島県/企画運営:県立博物館)で町内外の子どもたちがアクリル板にアクリル絵の具を使って描いたものです。

また、作品展示に合わせ、「只見BAUM」の看板もリニューアルされ、只見駅を訪れた人を楽しませています。



▲待合室を彩る子どもたちの作品

沿線で思いを繋ぐ 只見線こども会議 自転車リレー

只見線こども会議のメンバーが、8月10日にJR只見線沿線と会津鉄道会津線沿線を地域住民の思いと応援を背負い自転車で走りました。

メンバーは、県が検討を進めているオリジナル観光列車やリゾートしらかみ撫等の観光列車が来年以降も只見線に入線することなどを願い、ブナの木をイメージしたパネルに沿線住民からスタンプを集めながら、ゴール地点の会津若松駅で鉄道関係者らにパネルを渡しました。



▲メンバーの思いに共感し、スタンプを押す地域住民の皆さん

只見ランナーズ主催 「只見ランナーズ陸上教室」開催



▲メニューをこなす参加者たち

只見ランナーズは、町内在住者を対象とした「只見ランナーズ陸上教室」を8月12日、18日に開催しました。

陸上教室では、只見ランナーズ会長の矢沢裕也さんとJAAF公認ジュニアコーチの渡部一昭さんがコーチを務め、走るための基礎練習（全体練習）後、長距離走と短距離走に分かれての専門練習が行われました。

教室には延べ20人以上が参加し、走るための基本的な体の使い方やフォームなどを学びました。

多世代交流のきっかけに 「eスポーツ体験交流会」

福島県の『eスポーツによる「ふくしま」活性化事業』を活用した「eスポーツ体験交流会」が8月24日に只見公民館を会場に開催されました。

イベントは、町教育委員会の主催で行われ、およ（同じ色の玉【およ】を4つ以上繋げて消すというゲーム）、太鼓の達人（流れる音楽に合わせて、譜面通りに演奏するゲーム）が用意されました。

参加者は「難しいと思って敬遠していたが、やり方を覚えると思ったよりも楽しめた。機会があれば、友人や家族にも勧めたい」と感想を話しました。

10代以下から80代まで幅広く参加者が集まり、eスポーツを通じて多世代での楽しい交流となりました。



▲世代を超えて楽しむ参加者たち

帰省者、地元住民らが集まる

明和青年団主催「明和地区大盆踊り」開催



▲盆踊り主催した明和青年団と有志の皆さん

毎年恒例となっている「明和地区大盆踊り」は8月15日に、明和青年団の主催で開催されました。

明和地区大盆踊りでは、参加者に配布される抽選番号付きうちわを使ったお楽しみ抽選会や、打ち上げ花火が行われました。また、会場で友人と再会し思い出話や近況報告をする帰省者らの姿も見られ、参加者らは思い思いに盆踊りを楽しみました。

河井継之助の最期に思いを馳せる

「河井継之助墓前祭」が行われました

只見町で最期を迎えた長岡藩の家老河井継之助をしのぶ「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われました。

墓前祭では、渡部仁一実行委員長より参列者への感謝などが述べられた後、読経が行われ、参列者は河井継之助の最期に思いを馳せました。また、追悼の言葉として、渡部町長が「河井継之助の志を学び、繋ぐとともに、越後と会津の絆を深め、共に発展していきたい」と述べました。



▲長岡藩17代当主の牧野氏も参列されました

9年ぶりに只見町へ

「風とロックCARAVAN福島」公開生放送



▲楽しいトークとライブを届けた出演者の皆さん

風とロック、福島民報社、ラジオ福島が主催する「風とロックCARAVAN福島」の公開生放送は8月23日に只見公民館で開かれ、トークショーやライブ演奏が行われました。

メインMCに箭内道彦さん、ゲストアーティストに藤井敬之さん（音速ライン）、松田信二さん（THE BACK HORN）、成瀬瑛美さん、大竹涼華さんが出演し、ねっかの脇坂斉弘さんと渡部町長がトークショーの地元ゲストを務めました。

只見町での開催は、平成28年から約9年ぶりの開催となりました。